

年 号	町 の で き ご と	参 考 事 項
大正 8 年 (1919)	<ul style="list-style-type: none"> • このころから自転車がはやる。 • 小林小学校が初めて修学旅行をする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 小林の修学旅行では、小林—柳津—若松—田島を歩く。
大正 10 年 (1921)	<ul style="list-style-type: none"> • 只見に酒を作る会社ができる。 • 黒谷川水力発電所ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 九々生にも酒やしょうゆを作る工場があった。 • 馬やニワトリを飼う家が増えてくる。
大正 11 年 (1922)	<ul style="list-style-type: none"> • 電灯がつく。(74軒の家に1268灯) 	<ul style="list-style-type: none"> • 今まで明かりをとるには、ランプ・ろうそく・松の木等を使っていた。
大正 12 年 (1923)	<ul style="list-style-type: none"> • 自転車が5けんに1台の割合で広まる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 関東大震災がおきる。
大正 13 年 (1924)	<ul style="list-style-type: none"> • 大塩～只見～小林の間にバスが通るようになる。 • ラジオ放送がはじまる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 徒歩と人力車の時代から、自転車と自動車の時代に移る。 • メートル法がつかわれるようになる。
大正 15 年 昭和元年 (1926)	<ul style="list-style-type: none"> • 小林小学校が改築される。 • 布沢分校の校舎が完成する。 	
昭和 2 年 (1927)	<ul style="list-style-type: none"> • 只見川の下流にダムができて材木の運搬ができなくなる。 	
昭和 3 年 (1928)	<ul style="list-style-type: none"> • 伊南川で大洪水がある。 • 柳津まで汽車が来るようになる。 	
昭和 4 年 (1929)	<ul style="list-style-type: none"> • トラックで物を運ぶようになる。 • 生糸のねだんが下がる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一般にはまだ馬車が使われていた。 • 村の人々の生活が苦しくなる。
昭和 5 年 (1930)	<ul style="list-style-type: none"> • 炭焼きがさかんになる。 	
昭和 6 年 (1931)		<ul style="list-style-type: none"> • 満州事変がおきる。
昭和 8 年 (1933)	<ul style="list-style-type: none"> • 大豊作になる。 	
昭和 9 年 (1934)	<ul style="list-style-type: none"> • 大凶作となる。5月に157cmの雪があった。 • 南光社が解散する。 • 若松から田島まで汽車が通るようになる。 • 電話が普及しはじめる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 東北地方は大冷害となる。 • 村を離れて出稼ぎに出る人や、北海道などに移住する人がふえてくる。 • ブタを飼う家が増える。
昭和 10 年 (1935)	<ul style="list-style-type: none"> • スノーシェッドが初めて作られる。(塩沢) • なだれ止め・堤防・せきの工事がたくさん行われる。 • 青年学校ができる。 • 雪の害を少なくする研究が始まる。 	